

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

核酸供与体	供与核酸	ベクター	宿主等	保有動植物等	拡散防止措置の区分	備考
「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。 < 記入上の留意事項 >	「供与核酸」の欄には、ゲノム DNA、相補 DNA、合成 DNA 等の供与核酸の種類や名称等を記載する。	「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載すること。なお、ウイルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。	「宿主等」の欄には、宿主の種名、系統名等を記載する。	「保有動植物等」の欄には、遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。	「拡散防止措置の区分」の欄には、別表第二、別表第三、別表第四または別表第五の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。	「備考」の欄には、以下の事項を記載する。 (1) 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の組合せのうち大臣確認実験に該当する場合には、その旨 (2) 認定宿主—ベクター系を用いる場合には、その区分 (3) 各段階における主な目的等
記入例 1： ヒト	〇〇遺伝子相補 DNA	pCAGGS	マウス		P1A	ヒト〇〇遺伝子のトランスジェニックマウスを作製し、その性状を解析する。
記入例 2： ヒト	〇〇遺伝子ゲノム DNA		ヒトアデノウイルス (非増殖型)	動物培養細胞	P2	非増殖アデノウイルスベクターを用いて、ヒト〇〇遺伝子を動物培養細胞内で発現させ、その影響を調べる。

- 本表には、当該第二種使用等に係るすべての遺伝子組換え生物等及び当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分について記載する。また、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物等及び拡散防止措置の区分の個々の組合せ並びに実験の一連の流れがわかるように記載する。
- 「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。
- 「供与核酸」の欄には、ゲノム DNA、相補 DNA、合成 DNA 等の供与核酸の種類や名称等を記載する。
- 「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載すること。なお、ウイルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。
- 「宿主等」、「保有動植物等」の欄には、それぞれ、宿主、遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。
- 「拡散防止措置の種類」の欄には、別表第二、別表第三、別表第四又は別表第五の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。
- 「備考」の欄には、以下の事項を記載する。
 - 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の組合せのうち大臣確認実験に該当する場合には、その旨
 - 認定宿主—ベクター系を用いる場合には、その区分
 - 各段階における主な目的等